

会議録

会議の名称	令和5年度 第1回茨木市総合交通戦略協議会
開催日時	令和5年7月26日(水) 午前10時00分開会　　午前11時40分閉会
開催場所	市役所南館10階　大会議室
会長	塚口 博司
出席者	(公募市民) 角谷 伸一郎、藤田 和宏 (学識経験者) 塚口 博司、猪井 博登 (公共交通事業者及びその事業用自動車の運転者で構成された団体 から推薦された者) 中嶋 和政、阿瀬 弘治、中川 義彦、野津 俊明、池田 和弘、 田中 弥、高橋 光浩、堀内 隆彦 (福祉関係団体から推薦された者) 六條 友聰 (公共交通に関わる特定非営利活動法人から推薦された者) 藤本 典昭 (関係行政機関の職員) 東口 武生、森 文彦、内田 雅之、中村 洋一、鬼追 弘臣、 岡本 孝司(代理:丸山)、蟹谷 良照(代理:牧)　【21人】
欠席者	【0人】
事務局職員	藤田建設部長、砂金建設部次長兼建設管理課長、 山脇建設部副理事兼交通政策課長、谷山交通政策課長代理、 戸田計画推進係長、三浦、廣岡 【7人】
開催形態	公開
議題(案件)	(1) 茨木市総合交通戦略の改定について (2) 公共交通部会の設置について (3) その他
配布資料	(1) 会議次第 (2) 配席図 (3) 委員名簿 (4) 茨木市総合交通戦略協議会規則 (5) 茨木市附属機関設置条例 (6) 茨木市審議会等の会議の公開に関する指針 (7) 茨木市総合交通戦略の改定及び公共交通部会の設置について

	(8) 市民アンケート (9) 茨木市の概況
傍聴人	3人

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
建設部長	(1) 開会あいさつ
事務局	(2) 委員紹介 〔事務局より出席者を紹介〕
事務局	(3) 会長及び副会長の選出について 〔委員の互選により、塚口委員が会長に、猪井委員が副会長に決定〕
会長	人間の行動パターンが大きく変化すると、交通のあり方も変わってくる。総合交通戦略においても、社会的動向を十分に考え、皆様のご意見を適切に反映させながらまとめていく必要がある。この戦略は、茨木市の交通に関する上位計画に位置付けられるため、激動する社会に対応できる戦略にする必要がある。委員それぞれの立場の意見を集約し、まとめあげるというのがこの協議会の役割だと思う。
副会長	茨木市や周辺自治体における交通には、難しい課題が多くあるが、夢を描き、その実現に向け、この場の皆様で実行に繋げていくことが大変重要である。大変難しい課題だが、交通戦略において、未来を明るく進んでいけることが描ければと考える。
会長	(4) 会議の公開及び会議録の公開について 〔会議の公開について、以下の通り決定〕 会議は原則、公開とする。ただし、非公開とすべき事案が発生したときは、会議の非公開を決定することとする。会議資料については傍聴者へ閲覧、配布する。 〔会議録の公開について、以下のとおり決定〕 会議録は要点筆記の形で事務局が作成した案を会長が確認した後、公開する。また、会議録中の発言者の委員名は表示し、会議資料についても公開する。 (5) 議事 1：茨木市総合交通戦略の改訂について 議事 2：公共交通部会の設置について 議事 3：その他 〔事務局より議事 1 及び議事 2 について配布資料により説明〕

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
堀内委員	<p>この協議会内に設置予定の公共交通部会の検討内容が、地域公共交通活性化再生法に基づく協議会の検討内容と似ているが、茨木市には法定協議会があるのか。この公共交通部会がその役割を果たしていくのか。</p>
事務局	<p>地域公共交通計画を今の時点で策定する予定はないが、必要であれば今後、協議会の設置や計画の策定を考えたい。</p>
堀内委員	<p>今後、この総合交通戦略の中で、地域公共交通の考え方を出していくのであれば、法定協議会を立ち上げ、そことすり合わせていく方がスムーズに進んでいくと考える。今後検討いただきたい。</p>
六條委員	<p>山間部の移動支援に係る取組進捗はどうか。</p> <p>J R 総持寺駅に関して、新駅ということもあり、ホームドアが設置されたが、他駅のホームドア設置をどうしていくのか検討いただきたい。</p> <p>施策 13 の都市計画道路の茨木松ヶ本線整備について、整備後の渋滞緩和の効果はどうか。</p> <p>テーマ②安全な歩行空間の確保について、中央通り（府道枚方茨木線）は歩道の段差等、気になっている。</p>
事務局	<p>山間部の移動支援に関して、昨年 10 月から 11 月にかけ、予約型あい乗りタクシーとして試験運行を実施した。今後、山間部の各地域の方と結果を共有の上、意見交換をしていきたい。</p> <p>鉄道駅のホーム柵は、必要と考えているが、各鉄道会社の優先順位もあり、市として何ができるか考えていきたい。</p> <p>渋滞緩和について、茨木松ヶ本線の整備により効果があったと考えているが、大阪高槻京都線や新庄町の阪急ガード下で渋滞が発生している。阪急ガード下については、市で改良工事を予定している。</p> <p>歩道整備について、高橋交差点付近は改良工事を実施したが、前後区間については、今後、大阪府に相談・検討していきたい。</p>
藤本委員	<p>コロナ禍以降、駅における夜間の移動手段が限られていると感じる。次回、主要駅からの移動手段の状況等について、資料をお示しいただきたい。</p>
事務局	<p>移動実態に関しては、パーソントリップ調査のデータからどこまで詳細な分析ができるか分からないが、次回ご説明したい。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
藤田委員	<p>市内から市外へ行く流動が非常に多い。公共交通についても、市内だけではなく、もう少し広域的に整理する必要があると考える。</p> <p>また、安全に通行できる自転車ネットワークについても検討が必要だと思う。</p> <p>総合交通戦略の評価指標について、山間部と平野部には交通格差があり、議論する上ではそれぞれに目標を設定する必要があると思う。今後、議論させていただきたい。</p>
会長	<p>立地適正化計画が改定作業中だと思うが、立地適正化計画と交通戦略はどのような形でリンクさせていくのか。</p>
事務局	<p>立地適正化計画の中で位置づけられた拠点に対して、拠点間のネットワークをどのように確保できるのか考えていきたい。</p>
六條委員	<p>市民アンケートは、障害者にも届いていると思うが、点字・ルビなどの配慮はされているのか教えて欲しい。また、改定の際には、社会的障壁の除去という言葉を入れていただきたい。</p> <p>学校アクセスの件で、過去の総合交通戦略策定協議会資料の中に、通学路の歩道がない、狭いというアンケート調査結果がある。災害時の避難を考えると課題であるため検討いただきたい。</p>
事務局	<p>今回のアンケートは、総合計画等と併せて実施しており、総合計画の担当課にて、とりまとめて実施しているため、障害をお持ちの方への配慮について、把握できていない。確認し、ご報告させていただきたい。</p>
会長	<p>交通戦略の見直しにあたり、事業者の立場から意見があれば承りたいと思うがいかがか。</p>
野津委員	<p>公共交通部会に関連した議論があったが、公共交通の維持確保の検討にあたって、課題に応じて活用可能な国の補助金も相談させていただきたい。また、全国的にバスの運転士不足が顕著になっている。運転士不足の原因として、労働時間が不規則で長く、低賃金が上げられる。業界として運転士の待遇改善に取り組んでいる。車両更新のコストも必要であり、運賃改定を予定している。消費税率の改定に伴う見直しを除くと 26 年ぶりの改定となるため、非常に心苦しいところであるが、ご理解いただきたい。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
阿瀬委員	ホームドア設置にはかなりの費用が必要となるため、優先順位を付け取り組みを行っている。また、新型コロナや 2024 年労働問題などから自動車事業の環境や動力源も大きく変化している。国土交通省からも地域公共交通再構築元年という話も出ており、そのあたりも踏まえ地域公共交通協議会の活用なども検討をお願いしたい。
中嶋委員	JR 総持寺駅にホームドアを設置したが、乗降人数の他、様々な事情を加味している。また、JR 茨木駅の 2, 3 番乗り場について、ホームドアとまではいかないが、ホーム安全スクリーンを設置し、安全性を高めている。
田中委員	バス業界全体のイメージアップを図っていかなければならぬ。例えば、バスの運転士になりたいと思われるような動画作成や学校へ行って子供たちに仕事紹介やアピールできるような場を設けていただき、そのような戦略についても併せて考えていただけるとありがたい。
鬼追委員	4 月から自転車のヘルメット着用が努力義務となつたが、着用率が上がらない問題がある。そういう観点も合わせてご議論いただきたい。
会長	総合交通戦略の改定にあたり、委員から様々な意見をいただいたが、事務局で対応していただきたい。また、注意すべき視点についても、今後の協議会の議論の中で反映していただきたい。
<p>〔部会の設置について、以下の通り決定〕</p> <p>公共交通部会について、協議会規則第 7 条の規定に基づき、地域公共交通部会を設置する。本部会は「茨木市審議会等の会議の公開に関する指針第 3 会議の公開の基準」における「法人等に関する情報」に該当するため、部会は非公開、議事録は概要のみ公開、会議資料は非公開とする。公共交通部会の委員は、協議会規則第 7 条第 2 項の規定により、猪井委員、野津委員、池田委員、田中委員、高橋委員の 5 名とする。部会長については、協議会規則第 7 条第 3 項の規定により、猪井副会長とする。</p>	
<p>〔議事 3：その他〕</p>	
六條委員	鉄道のバリアフリー化事業にあたり、地元当事者団体と意見交換していただけるとありがたい。
	もう一点、移動円滑化評価会議近畿分科会で、大型の車椅子が UD タ

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	クシーに乗車しにくい点を課題提起している。地元から国に働きかけたことをきっかけに、話を大きく前進させることができた事例であり、誰もが乗りやすいタクシーを作るため、今後も民間企業と車両の違いによる比較検証していく。
会長	最後に、猪井副会長に協議会のまとめをしていただきたい。
副会長	長期的に考えなければならない問題が存在している中で、運賃の値上げについて、運賃が値上げされるという事実だけではなく、その経緯や背景を発信して行かないと 1970 年代、80 年代に起こったように公共交通が衰退し、自動車に流れる負のスパイラルに戻ってしまうのではと思って聞いていた。今は運転士が少なく、今日明日にでも止まってしまう状況が見えてきており、短期の対応を考えた上で、中期・長期的な取り組みを考えていく必要がある。ぜひ委員にご協力いただきながら議論していくたいと思う。
会長	猪井副会長の発言をもって、本日のまとめにしたいが、本日は、現状における課題や今後の方針や方向性について情報共有できたと思う。総合交通戦略というのは、総合と付いている通り、自動車交通だけ、あるいは公共交通だけを扱うのではなく、それを含めた全体として交通をどのようにしていくのかというものである。様々な視点からの検討が必要であるが、特に公共交通をいかに維持していくかということが重要であるため、部会を設けて議論していただくことについて、皆様の同意を得られたと思う。協議会における議論を経て、新しい総合交通戦略ができる訳ですので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。
事務局	<p style="text-align: center;">(6) 次回の開催日程</p> <p>11 月 20 日に開催を予定（後日、正式に開催通知を送付）</p> <p style="text-align: right;">以上</p>